

水中不分離性超速硬グラウト

小野田超速硬グラウト PFG®-25 AQUA

特 長

水中不分離性



超速硬グラウト

水中不分離性超速硬グラウト

低粘性

高いポンプ圧送性

早期強度発現性

材齢3時間 18N/mm²以上
(水中成形)

包装形態



● 小野田超速硬グラウト
(水中不分離タイプ)
PFG-25 AQUA 20kg/袋



● ジェットセッター W 4kg/缶
(専用凝結遅延剤) ※別売

用 途

- 水中構造物の早期構築
- 護岸補修、水中構造物補修等

性 能

※数値は、実験室データ例です。

温 度 (°C)	W/M (%)	テーブルフロー (mm)	凝結時間 (分)		圧縮強度 (3h) (N/mm ²)	
			始発	終結	気中成形	水中成形
20	19	250	45	52	24	18

遅延剤添加量 : 100ml (125g) / 袋 (0.7%)
テーブルフロー : JIS R 5201
引き抜き5分後の値

凝結時間 : JIS R 5201 ビガー針
圧縮強度 : JSCE-F504-2023
(φ50×100)

フロー ▶



配 合

1 袋当たり	PFG-25 (kg)	標準練り水量※2 (%)	ジェットセッター W (専用遅延剤)	練り上がり量 (%)
	20	3.6~4.0	適宜※3	約11.7※4

※2 目標とするコンステンシーを得るために、事前に標準練り水量の範囲で水量を確認してください。

※3 ジェットセッター W (専用遅延剤) は、添加量を参考に環境温度に応じた量を練り水に加えてください。

※4 1m³当たりの使用量は、約86袋となります。

水中不分離性超速硬グラウト 小野田超速硬グラウト材 PFG®-25 AQUA

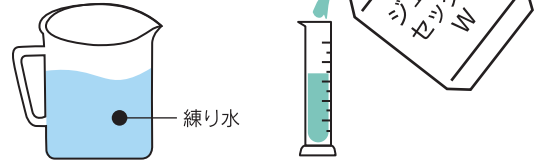
使用方法

小野田超速硬グラウト (PFG-25 AQUA) 1袋当たり、**3.6~4.0**の標準練り水量の範囲でご使用下さい。

使用時の注意

- 標準練り水を超える水量で練り混ぜた場合、材料分離や強度不良の原因となります。
- ジェットセッター W (専用遅延剤) は、あらかじめ練り水に所定量を加えてご使用ください。
- 練り混ぜ時間は、ミキサの性能により異なります。ご注意ください。
- 型枠の取り外しは、打設後3時間以上経過後に行ってください。

練り水とジェットセッター Wは、あらかじめ計量しておいてください。



● ジェットセッター Wの添加例 (ハンドリングタイム40min)

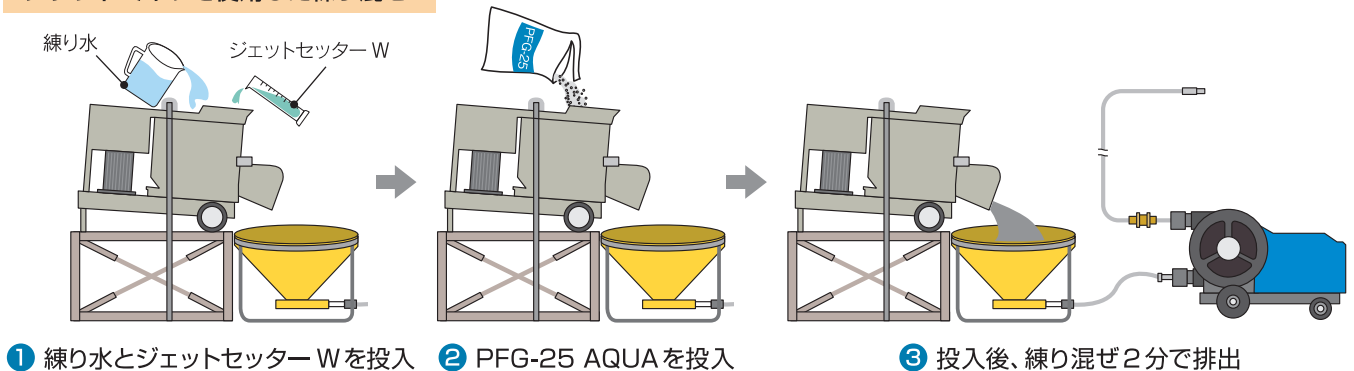
環境温度	10℃ ~ 20℃ ~ 30℃
使用量 (ml/袋)	約50ml ~ 約100ml ~ 150ml

ハンドミキサを使用した練り混ぜ

※アルミ製の羽根は使用しないでください。



グラウトミキサを使用した練り混ぜ



小野田超速硬グラウト材 PFG-25 AQUA 取扱い上の注意

- 目や皮膚への接触を避けるため、適切な保護具 (手袋、保護メガネ、防塵マスク等) を着用し、換気に注意して下さい。
- 取扱い後は、顔、手、口等を水洗いして下さい。
- 万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本製品をご使用いただく場合には、ご使用者側にて調査検討下さいますようお願い致します。
- 使用前に当製品の安全データシート (SDS) をお読み下さい。

「PFG」は、小野田ケミコ(株)のセメント系材料の登録商標です。

© 小野田ケミコ株式会社

メンテナンス
MI事業部

〒130-0022 東京都墨田区江東橋 4-11-1 錦糸町ダイヤビル7F
TEL: 03-5638-8564 FAX: 03-5638-8567
URL: <https://www.chemico.co.jp/>



商品情報はこちらから